

# 令和7年度 第2回 緩和ケアを学ぼう会 参加者アンケート結果

◆日時 令和7年9月4日(木) 18:30～

◆ハイブリット開催

◆参加人数 85名(会場 48名 Zoom 37名)

◆アンケート協力者数 36名

## 1 事例・取り組み紹介

「予後数か月と告げられたスキルズ胃がん患者が最期まで自宅で過ごすまで」

～ 夫婦で支え合い、歩んだ在宅医療の記録 ～

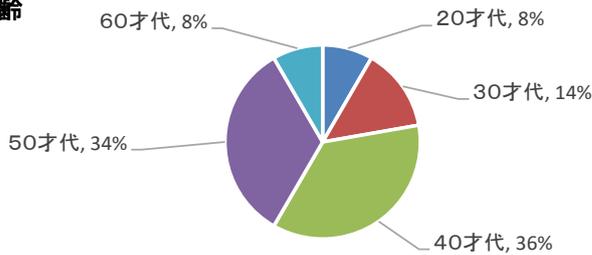
訪問看護ステーションにこ 看護師 田村 美紅 氏

## 2 講義

「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」

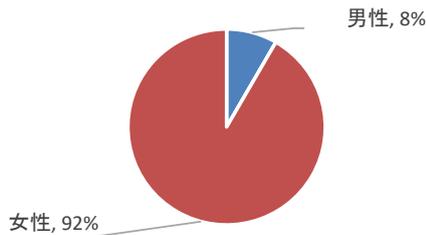
鶴岡市立荘内病院 地域医療連携 緩和ケア認定看護師 上林 沙希子 氏

### 年齢



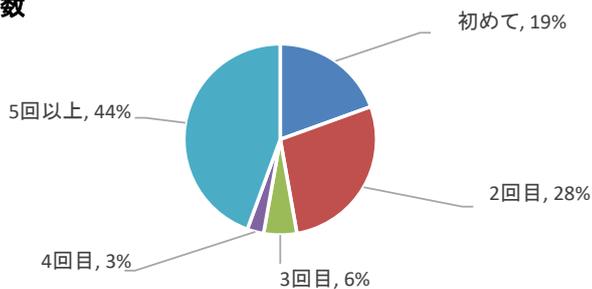
20才代	3
30才代	5
40才代	13
50才代	12
60才代	3
70才代	0
総計	36

### 性別



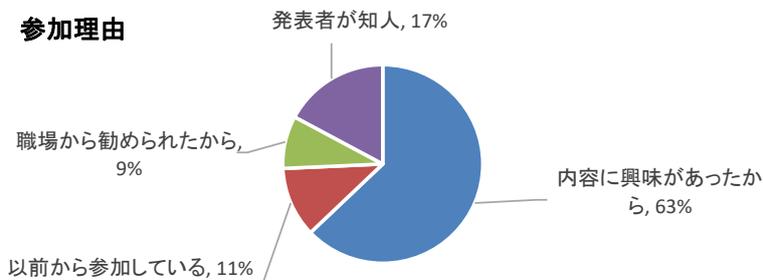
男性	3
女性	33
総計	36

### 参加回数



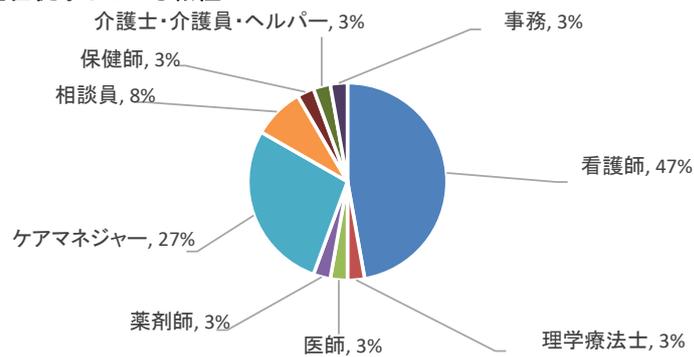
初めて	7
2回目	10
3回目	2
4回目	1
5回以上	16
総計	36

### 参加理由



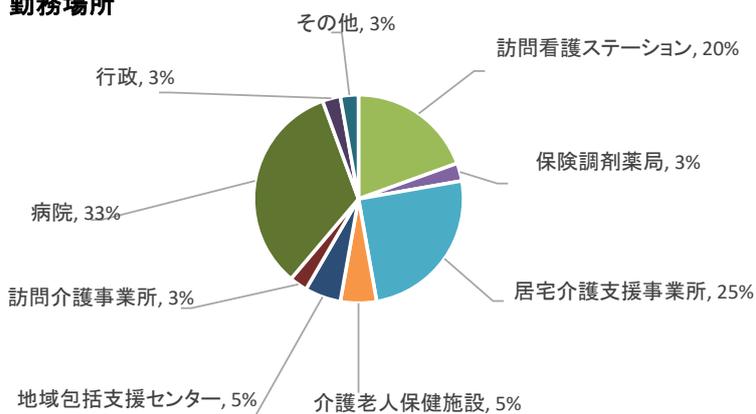
内容に興味があったから	22
以前から参加している	4
職場から勧められたから	3
発表者が知人	6
総計	35

### 現在従事している職種



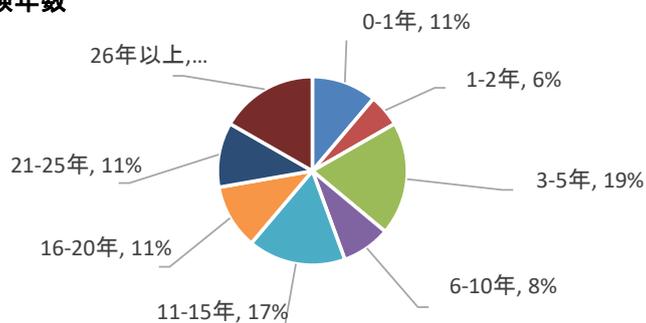
看護師	17
理学療法士	1
医師	1
薬剤師	1
ケアマネジャー	10
相談員	3
介護福祉士	
保健師	1
介護士・介護職・ヘルパー	1
事務職	1
その他	
総計	36

### 勤務場所



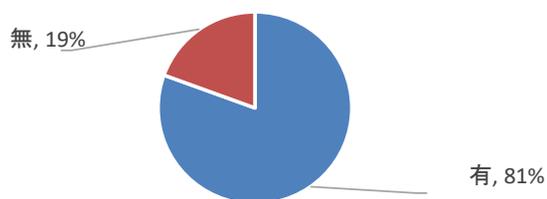
訪問看護ステーション	7
保険調剤薬局	1
居宅介護支援事業所	9
介護老人保健施設	2
地域包括支援センター	2
訪問介護事業所	1
病院	12
行政職	1
その他	1
総計	36

### 経験年数



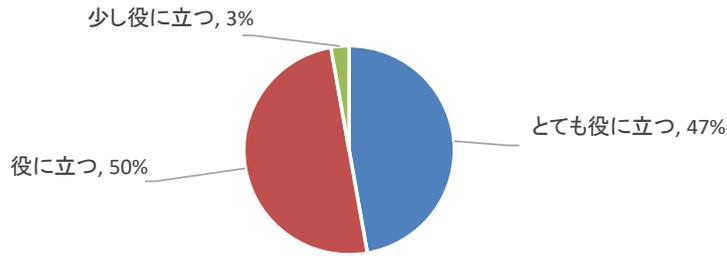
0-1年	4
1-2年	2
3-5年	7
6-10年	3
11-15年	6
16-20年	4
21-25年	4
26年以上	6
総計	36

### 看取りの経験



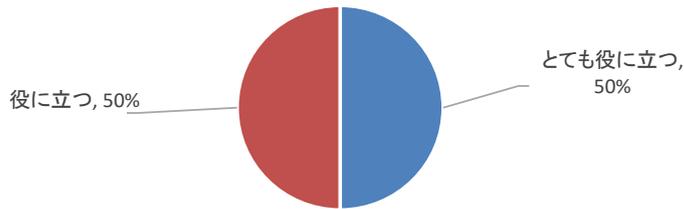
有	29
無	7
総計	36

### 全体的に役にたちましたか



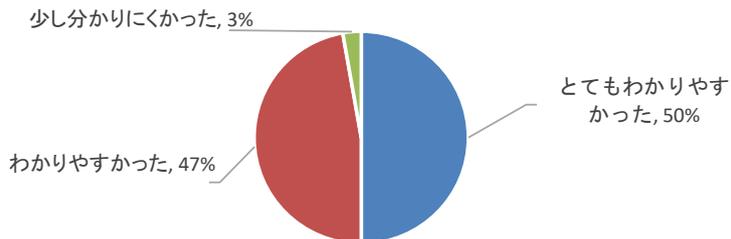
とても役に立つ	17
役に立つ	18
少し役に立つ	1
総計	36

### 事例「予後数ヶ月と告げられたスキルズ胃がん～」は役に立ちましたか



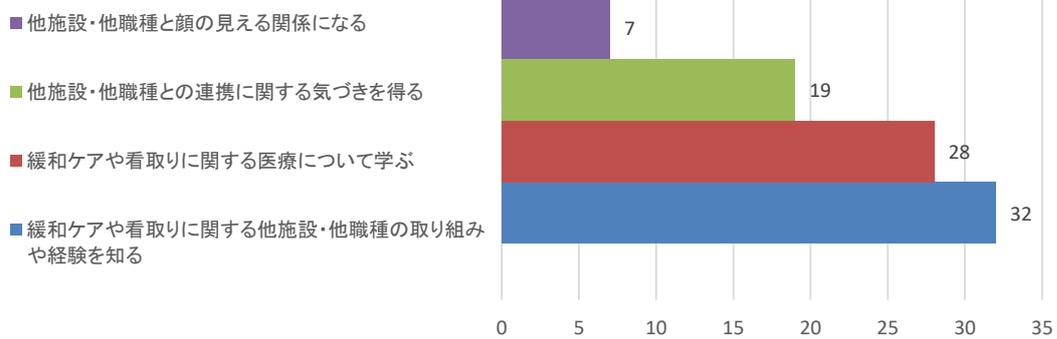
とても役に立つ	18
役に立つ	18
少し役に立つ	
総計	36

### 講義「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」は役に立ちましたか

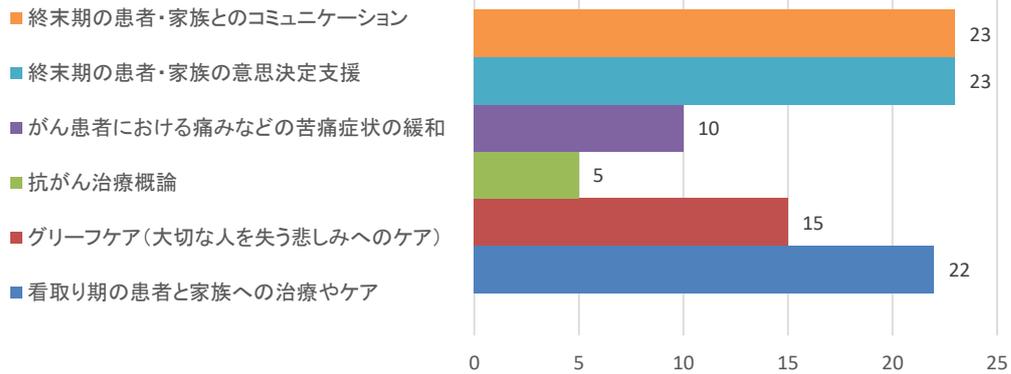


とてもわかりやすかった	18
わかりやすかった	17
少し分かりにくかった	1
総計	36

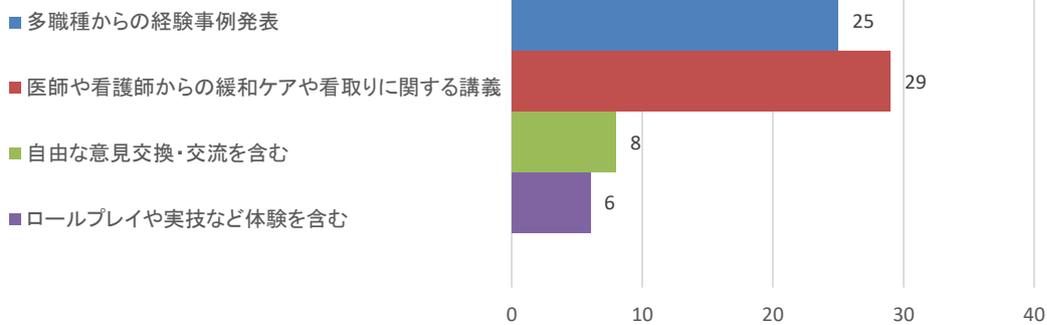
### 緩和ケア学ぼう会はどのように役立つと思いますか



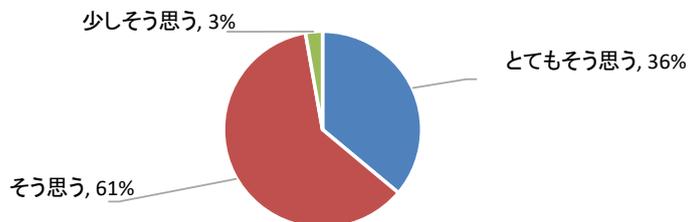
### 講義内容について、希望する内容



### 「緩和ケアを学ぼう会」の形式について、希望する内容をえらんでください（複数回答可）

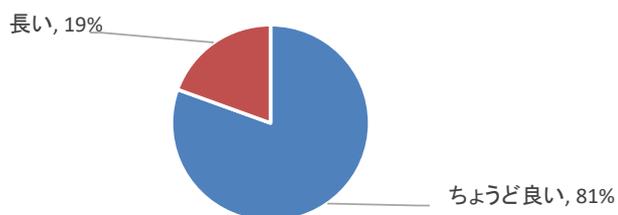


### 今後も参加したいと思うか？



とてもそう思う	13
そう思う	22
少しそう思う	1
総計	36

### この会の時間の長さはどう思いますか



丁度良い	29
長い	7
統計	36

## § ご意見・ご感想など自由記述 §

- ◎ 老健でも高齢者の看取りの数が増えており、ご家族と本人との関わりの支援や、認識の違いへの介入、病状や今後についての説明など看護師が行うことが多いです。今回は50代の方ということですが、家族と本人の橋渡しとして訪問看護さんが上手く介入し、思いを聞き出すことができ、希望に寄り添った看取りができたというところがとてもすごい事だなと思い聞かせていただきました。そこに認知症が入ってくる高齢者の看取りですが、我々も多職種と連携し橋渡しやもっとよい寄り添いが出来るように、学習や日々邁進していきたいと思いました。
- ◎ とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ◎ 高齢者の尊厳への配慮の講義が為になりました。
- ◎ 講義の「高齢者の尊厳」で認知症だから、看取りだからではなく、日常の中からの関わり方が重要だと改めて気づきました。
- ◎ 会場から質問が出なければそのまま良いと思う。予定時間より早く終わっても良いのでは？
- ◎ 地域の中で在宅医療を支える職種の方々の事例をお聞きできる貴重な機会をありがとうございます。今後、介護や医療の人材不足が予測されている中で、在宅医療はどのようになっていくのか、事例の様な手厚いケアは受けられなくなってしまうのか、考えなければならぬと思います。
- ◎ 最期をどのように迎えたいか、本人の意向に添ったケアを行うためには、本当の気持ちを引き出す能力が大切になってくるし、個人の死生観等理解する必要があると感じる。日々の業務の中、講義であった代弁者としての役割は、高度な能力を有すると感じました。
- ◎ 他の事業所の取り組みを知ることができ、勉強になりました。高齢者への対応についても改めて学ぶことができました。
- ◎ ヘルパーでもガン患者をはじめ、看取りケアのケースが増えており、事例研修がとても参考になります。
- ◎ 事務局の皆さんお疲れ様でした。ズームより会場の方が良く聞こえるように思いました。今後は会場に足を運びたいと思います。ありがとうございました。



～ 緩和ケアを学ぼう会 ～